

2020年 1月21日

大阪市環境局環境管理部環境管理課

御 中

(同文を公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会にも提出)

夢洲の都市計画変更を考える市民懇談会  
代表 阪南大学教授 桜田 照雄  
大阪府中央区南本町1-4 StORKビル 4階  
一般社団法人JELF (日本環境法律家連盟) 気付  
連絡担当事務局 [REDACTED]

### 「万博施設建設への環境影響評価方法書」に対する意見書への回答 及び 今後の進行・計画についての質問書

貴職におかれましては、2025年大阪・関西万博の諸準備にご多忙のこととお察しいたします。

さて、貴職が昨年末に公表された「万博施設建設への環境影響評価方法書」への意見書募集につきまして、当団体は昨年12月25日に5団体（夢洲の都市計画変更を考える市民懇談会、及び カジノ問題を考える大阪ネットワーク、NPO法人・AMネット、どないする大阪の未来ネット、公益社団法人大阪自然環境保全協会）及び個人の意見書を持参し、貴職をお尋ねして意見を申し述べる場を設定いただきました。あらためて感謝申し上げます。

そこで、提起いたしました意見・要望・課題は多岐にわたりますが、大阪府民や周辺都市住民にとっては大変重要な問題を提起いたしております。

この問題を単なる環境アセス条例に基づく「アリバイ」として処理されることのないように注視をいたしております。

そこで、大変ご多忙なところ恐縮でございますが、下記の点についてご回答をいただきますように申し入れいたします。

#### 記

- 1、 「万博施設建設への環境影響評価」の今後のスケジュール、計画及び予定を明らかにしていただくこと。
- 2、 方法書に関する私たち市民からの意見書を踏まえて、大阪市長として事業者である「日本博覧会協会」にどのような対処を求めるのか、また手続きに基づく「市長意見」の内容を明らかにしていただくこと。

- 3、 提出いたしました「意見書」について、審議、処理の進行スケジュールを明らかにしていただくとともに、個々の意見及び要望について、採択（採用）するもの、不採択（不採用）とするものを公表いただき、また、不採択（不採用）の意見についての「理由」を提出団体・個人に回答をいただくこと。
- 4、 回答の方法については、文書回答の上、回答説明の協議の場を設定いただくこと。  
(当団体は 代表 10名～15名が出席いたします)
- 5、 2025年万博の成功に欠かせない「交通アクセス」について、計画されている「大阪メトロの夢洲への延伸計画」(大阪メトロ・北港テクノポート両事業者の関係を含む)について、現状の構想、及び「環境影響評価」の取り組み計画を明示いただくこと。

以上につきまして、今年1月末までに「ご回答」をいただき、2月の早い日程で「協議・説明」の場を設定いただきたく申し入れいたします。

(この際、環境局及び万博協会両者の合同の場合か、別々かは貴職にゆだねます)

尚、各項目で今後のスケジュール、計画について即答いただける件については、下記メールに別途ご返答いただけましたら幸いです。

Eメール

以 上